



第133回 勉強会「ジオラボ」

主催:(公社)地盤工学会九州支部・長崎地盤研究会
共催:長崎県測量設計コンサルタンツ協会
後援:長崎県技術士会

日 時:令和5年4月14日(金) 14:00~17:00

会 場:長崎大学文教キャンパス 工学部1号館2階大会議室(ピロティ横の階段を上がる)

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html> (地図中の「工学部」と書かれた建物です。)

もしくは zoom オンライン会場

<https://nagasaki-u-ac-jp.zoom.us/j/85143606379?pwd=TEIPUVVISUZkZy9nZ21XUVkyTmQyUT09>

ミーティング ID: 851 4360 6379

パスコード: 238572

参加費:1,000円(対面・オンラインによらず年度末に一括してご請求いたします)

話題提供:14:00~17:10(①:14:00~15:30/②15:40~17:10の予定)

①硝酸性窒素汚染とその原因評価方法

中川 啓 先生(長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科)

概要:研究対象としている島原半島では、長きにわたって硝酸性窒素による地下水汚染に悩まされている。

長崎県では窒素負荷低減対策会議を設置して、対策の進捗を管理しているが、なかなか問題解決には至っていない。効果的な対策を講じるためには、汚染原因を特定することや、汚染要因を分解してそれぞれがどのように変化してきているか評価することが役立つだろう。ここでは、新しい汚染原因の特定方法やオープンデータを用いた汚染要因の変化傾向を調べる方法について紹介する。

②切羽前方探査データの分析に基づく地山判定に関する研究

阪口 治 様(株式会社鴻池組 技術本部)

概要:本研究では、トンネル掘削時に取得した切羽前方への穿孔探査データと地山特性との関係性を詳細に分析し、穿孔データの定量的評価による地山判定の可能性について検討している。その方法として切羽評価点を判定する方法、地山等級を判定する方法について検証した。また、人工知能技術を用いて穿孔データから地山特性の重要な要素の一つである岩盤の一軸圧縮強度の推定を試みた。それらの方法と検証結果について述べる。

長崎地盤研究会ミーティング:17:10-17:40

下記のフォームより、お申し込みをお願いします。

(右の2次元バーコードからもアクセスできます)

<https://forms.office.com/r/PT9qYF7RiH>



※ 建設系 CPD 協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系 CPD 協議会継続教育参加証を発行いたします。後日メールにより、電子ファイルを送付いたします。